

**場所** 佐賀県武雄市

**面積** 2.17ha

**活動目的** 中山間地の周囲を山々に囲まれた土地で、農地、山林を維持管理しながら生活を営むための仕組みづくり。「梅仕込み教室」を通じ、現代の人々の食生活にも活用できる梅を使った商品づくりに取り組む。四季折々、農園内や周辺市域で育った旬の食材を使った飲食店経営を通じ、食育・地域産業の活性化に務める。



**サイト概要** 本サイトが位置する若木町は佐賀県武雄市の中山間地域であり、農地を管理するのは兼業農家が殆どで、後継者不足で農地の存続が危ぶまれている中であって、観光農園として「梅仕込み教室」「地産地消にこだわった飲食店」、地元小・中学生との「自然散策・梅ジャム作り体験」、また申請地域周辺のスギ・ヒノキ林の「皮むき間伐体験」を通じて自然を身近に感じることの少ない都市部の人々や、次世代の中山間地農業を担う地元の子供達との交流を活発に行い、自然との共生の現実を伝えている。また、造園当時にエリアを囲む防風林として植えられたスギ・ヒノキ林は、「皮むき間伐」の実施により、以前よりも林床が明るくなり草本が繁茂し、昆虫等の数が多く見られるようになった。

## 土地利用の 変遷

山林であった場所がダム造成用の土壌として削られ、その開けた場所で、45年前にミカン栽培を始めた。その後、南高梅の栽培へと転換し、最盛期には500本の梅を栽培していたが、時代の変化とともに梅の需要の減少、価格の暴落により従来通りの栽培が難しくなり、一部をレモン・ゆず等柑橘類の栽培に切り替えるとともに観光農園として運営している。さらに、1ha程の休耕水田を養蜂の場として利用するために、蜜源植物（アブラナ・ゲンゲ等）の栽培をして維持管理に努めている。

## サイト周辺の 環境

周囲が山々に囲まれた中山間地域であり、昔から朝晩の寒暖差の大きい気候条件を利用した稲作が行われてきた地域で、最盛期には山から流れる水を利用した美味しい米が収穫できていたが、近年の害獣被害の拡大、後継者不在により継続的な管理が危ぶまれる。

## アピール ポイント

20年以上開催している梅仕込み教室には毎年800人程の参加者を迎え、梅干しをはじめとする伝統食の普及に努めてきた。8年前より観光農園に飲食店を併設させ、梅を食すことの減ってきた現代の食生活に取り入れやすい形で梅を使った食事を提供している。今では年間約1万人の来店者数があり、地元の契約農家や地元の製造業者の協力のもと地元食材の使用に努め、地域経済の発展と地域活性を目指している。

## 生物多様性の価値

## 価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

## 【場の概況】

果樹園内には、梅の他に、レモン、ゆず等の柑橘類が存在し、四季に合わせてそれぞれの樹種が開花し実る。来園者は、そうした四季に応じて情景が変化する農園を体感しながら、果実をベースにした料理を食し、あるいは、園内で生産した梅等を用いたジャム作り体験や、果樹園周囲の防風林であるスギ・ヒノキ林の「皮むき間伐」を体験しながら、中山間地域の持続可能な農業のあり方を楽しみながら学ぶ。

## 【主な植生】

周囲を杉・ヒノキ林に囲まれ、山桜、山藤、カシ、栗など花や実をつける木々が多く植生しており、当申請地域の昆虫類・動物の生息しやすい環境となっている。梅園、スギノキ林、水田休耕地（お花畑）

## 【確認された主な動植物など】

## ●梅園地域

【昆虫】カブトムシ、クワガタムシ類、ハチ類、セミ類 【哺乳類】イノシシ、イタチ、アナグマ、タヌキ、キツネ 【鳥類】キツツキ、スズメ、アオサギ、ダイサギ、ツバメ、ヒヨドリ、メジロ 【植物】梅、スギ、ヒノキ、ユキノシタ、スミレ、ゲンゲ など

## ●旧水田地域

【昆虫】ハチ類 【哺乳類】イノシシ、タヌキ 【鳥類】キツツキ類、スズメ、アオサギ、ダイサギ、ツバメ、ヒヨドリ 【植物】ゲンゲ、スミレ類 など

## ●防風林地域

【昆虫】ハチ類 セミ類 【哺乳類】イノシシ、イタチ、アナグマ、タヌキ 【鳥類】キツツキ類、スズメ、アオサギ、ダイサギ、ツバメ、ヒヨドリ 【植物】スギ、ヒノキ、ユキノシタ など



写真の説明：地元中学生のジャム作り体験



写真の説明：皮むき間伐体験の様子

## 生物多様性の価値

## 価値（5）伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場

## 【場の概況】

20年以上に渡り開催している「梅仕込み教室」には、この梅園で収穫された梅を使用している。参加者には日本の伝統食である梅干しの漬け方をはじめとする梅を使った保存食の作り方や食し方などを伝える活動が続けてきた。近年、家庭の食卓で馴染みの少なくなった「梅」を現代の食生活に取り入れやすい形で提案している。開催当初は母親に手を引かれて参加していた子どもたちが、今では我が子を抱いて家族で参加する状況になった。当サイトの梅園は、日本の伝統食である梅食を伝えるための重要な里山資源である。

## 【伝統文化等の名称】

「本地域で昔から各家庭に伝わっている食文化の継承」：梅仕込み教室を通して、従来、家庭ごとに受け継がれてきた「梅干し」の漬け方だが、核家族の増加や食文化の変化とともに日本の伝統食の継承が難しい時代になってきた。古より健康維持のために食されてきた梅干しをこれからの時代にも伝えていくことが本サイトの活動意義の一つである。

## 【活用している自然資源】

- ・梅園



写真の説明：収穫時期の南高梅



写真の説明：梅仕込み作業の様子

## サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>〈活動目的〉            梅園地域：果樹の栽培を続けていくことにより、観光農園の継続的な運営を通して都市部との交流人口の増加に貢献する。中山間地域で自然との共生を実践し続けることでリアルに想像させることを目的として活動する。</p> <p>水田地域：1haの農地を利用して養蜂を行い、農地を管理することで周辺稲作地帯の水路の保全・収量増加に寄与する。</p> <p>〈活動内容〉            梅園地域：果樹の栽培、観光農園の継続的な運営、梅仕込み教室・自然体験活動の継続的な実施。農薬の使用は最小限に努め、生態系に影響の少ない栽培方法をおこなう。</p> <p>旧水田地域：蜜源植物の栽培と養蜂で農地の管理を行い、周辺稲作地帯へ続く水路沿いに防護柵を設置し管理を続ける事により害獣による被害から周辺農地を守る。</p>	<p><b>【モニタリング対象】</b>            ・鳥類、昆虫類、植物</p> <p><b>【モニタリング場所】</b>            ・梅園地域            ・旧水田地域            ・防風林地帯</p> <p><b>【モニタリング手法】</b>            ・3地域の場所について、任意の場所で、捕獲もしくは写真撮影を行い、種の同定を行う。</p> <p><b>【モニタリングの実施時期及び頻度】</b>            ・梅園地域（通年）            ・旧水田地域（3月～5月、9月～10月）            ・防風林地帯（7月～8月）</p> <p><b>【モニタリング実施体制】</b>            株式会社お百笑さんの職員が中心となって観察・記録を行う。認定後5年以内に生物の専門能力のある者による調査実施または助言・指導受けられる体制を整備する。</p>